

自律貢献

2026年(令和8年)7月17日
福山市立向丘中学校
校長 高田 佳明
学校だより《7月》



振り返るということ

学校では例年、この時期になると、よく「一学期を振り返って」というタイトルで作文を書いたり、振り返りシートなるものを使って、今までの反省をしたりする取組を行います。日々の授業でも毎回書いているのではないのでしょうか。今日はその振り返るという活動の意味を改めて一緒に考えてみたいと思います。

私が、今でも忘れることのないシーンがあります。何十年も前、私が小学生だったころ、当時「キャプテン翼」の影響でサッカーが人気で、私も学校のサッカー部でゴールキーパーをしていました。指導者は学校の若い先生でしたが、練習の最後に時々こう言っていました。「今日練習したこと、一つ一つのプレーの意味、例えばなぜあの場面でパスを出したのか。なぜミスをしたのか。帰ってお風呂に入った時にでも、考えてみてください。」しかし、私はそれを実行することはほぼなかったと記憶しています。ところがある日、試合でミスが多く先生にも注意を受けて自分自身落ち込んで家に帰ったのですが、ふと先生の「お風呂に入った時に…」の言葉を思い出し、その日お風呂の中で、試合前の練習から試合中の一つ一つのプレーについて、「なぜそうしたのか」、「ほかにいい方法はなかったのか」、「あのとき〇〇君はどう動こうとしていたのか」などを考えていると、不思議と「次はこうしてみよう」、「明日〇〇君に聞いてみよう」という前向きな気持ちになったことをよく覚えています。

私自身、小学生から高校生まで学期ごとによく「振り返り」を書かされました。今になって思えば、聞かれたことに答えるだけの無機質な作業だったように思います。しかし、「振り返る」という活動の真の意味やその質を問うことは、学習した内容を確実に身につけさせるとともに、次なる学びを深いものにするためであり、さらに、「振り返り」を真剣に行うこと、つまり自分自身に真剣に向き合うことは、自らの成長への道をつくることと考えます。

“メタ認知”という言葉があります。難しそうな言葉ですが、わかりやすく言うと「自分の考えや感情、行動、記憶などを「もう一人の自分」が一段高いところから見下ろして把握すること」です。

さあ、夏休みです。♪もうすぐ今日が終わるやり残したことはないかい♪。お風呂に入りながらでも「もう一人の自分」と語り合ってみてください。

それがみなさんの希望や夢につながる道となりますように。

インタビュー

今年度本校に赴任した先生方に聞いてみた ～ part 4～

Q：中学生時代はどのように夏休みを過ごしていましたか？

数回に分けて
順番に紹介して
きましたが
今回で終わりに
なります。

特別支援学級複数指導
光成 裕子先生

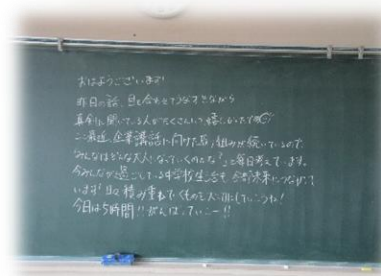
造形部に入っていました。活動日が少なかった家でんびりしていました。でも、竹々端のフールにはよく行っていたかな。ピアノを習っていたので練習も頑張りました。

ほぼ強制？でみんなで学校で勉強していました。また、陸上部(中・長距離)だったので毎日毎日走っていました。今ほど暑くなかった気がする…。

日本語指導
仁木 真美先生

見ることができたらラッキーかも…

下の写真は、ある日の早朝、教室の黒板に書いてあったものです。



おはようございます！
昨日の話、目を合わせてうなずきながら
真剣に聞いてくれる人がたくさんいて、嬉しかったです。
ここ最近、企業講話に向けた取組が続いているので、
「みんなはどんな大人になっていくのかな？」と毎日考えています。
今みんなが過ごしている中学校生活も、全部未来につながっています！日々積み重ねていくものを大切にしていこうね！
今日は5時間！！がんばっていきー！！

おそらく担任の先生が、前日みなさんの下校を待って教室に行き、教室の掃除をしたあと書き残して退校されたのでしょうか。先生の、普段口にはしないみなさんへの気持ちが見られて幸せですね。